

第85回生命科学先端研究センター 学術セミナー

日時：平成26年5月2日（金）午後5時から

場所：杉谷キャンパス 附属病院2階 臨床講義室(1)

講師：宮川 清 先生（東京大学大学院医学系研究科・教授）

演題：「DNA損傷応答から放射線影響を考える」

内容

放射線の生体への影響を考える上で、DNA損傷に応答する情報伝達系の役割を解明することは、近年の生命科学における中心的な課題の一つである。放射線高感受性を呈する疾患の原因解明とモデル生物の遺伝学の発展により、この経路の構成分子が次々と発見され、それらの相互作用を解析することによって、主要な経路図の概略は広く知られるようになってきた。その一方で、これらの作用がどのように放射線の重大な影響である発がんに結びつくのかはまだ不明な点が多い。ゲノム情報や生体機能の基本原理の解明などによるストレス応答の統合的な理解が、放射線を安全に利用して科学の発展に貢献するために、ますます重要となってきている。

※本セミナーは大学院医学薬学教育部の単位認定の対象に、またセンター放射線業務従事者に対する教育訓練（再教育）の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

◎問い合わせ先

庄司美樹（アイソトープ実験施設長）

電話：076-434-7190

メール：shojim@cts.u-toyama.ac.jp